

東広島医療センター産婦人科で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、以下の問合せ先にご連絡下さい。

研究課題名	生殖補助医療における保険適用前後での胚移植個数および双胎妊娠率の変化に関する検討			
実施予定期間	実施許可日 から 2035 年 12 月 31 日			
対象患者	当院を受診した妊婦さん			
対象期間	2012 年 1 月 1 日 から 2030 年 12 月 31 日			
研究機関の名称	独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センター			
研究責任者	氏名	田中 教文	所属	産婦人科
使用する資料等	診療記録を用いて患者背景・妊娠分娩経過等を取得します。			
研究の目的・方法	生殖補助医療（Assisted Reproductive Technology; ART）では、母児の安全のために単一胚移植（Single Embryo Transfer; SET）が推奨されていますが、2022年4月からARTが保険適用となり、保険内での胚移植回数に制限が設けられました。その結果、妊娠率を高めるために複数胚移植（Multiple Embryo Transfer; MET）が選択されやすくなり、多胎妊娠の増加が懸念されています。本研究では、当院に紹介された妊婦を対象に、生殖補助医療の有無、保険適用前後での胚移植個数や双胎妊娠率の変化等を調査し、安全かつ効果的な治療提供に向けた今後の方針を検討することを目的としています。妊婦さんの診療記録をもとに、保険適用前後での胚移植の状況や妊娠結果を比較・分析します。			
利用または提供を開始する予定日	2025 年 11 月 18 日（本研究の実施許可日）			
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
結果の公表	学会や論文等で公表します。			
個人情報の保護	結果を公表する場合、個人情報が特定されることはありません。			
知的財産権	東広島医療センター 産婦人科			
研究の資金源	特になし			
利益相反	利益相反なし			
問い合わせ先・相談窓口	東広島医療センター 産婦人科・医師 担当者：田中 教文			
	電話	082-423-2176（代表）		